

# 短大生の大学進学及び編入学に関する意識

深田成子・高野卓郎

## 問 題

### 一 女子高校生の四年制地元私立大学志向

深田・高野（一九九五）によれば、女子高校生の四年制大学志向（四年大・短大）として女子大学志向（四年大・短大）は非常に強く、そのような志向を示す女子高校生は、それぞれ約九割、約八割、約八割、約六割も存在していた。これにより、広島市内の私立四年制女子大学に対して進学を希望する女子高校生が多数存在することが実証され、地域社会において広島市内の私立四年制女子大学に対する極めて強い進学への要求が存在していることが解明された。また、女子高校生が進学を積極的に希望している広島市内の私立四年制

女子大学の学科・専攻は、第一が「英米語・文学系」、第二が「人間科学系」であった。

### 二 女子高校生の保護者の四年制地元私立大学志向

高野・深田（一九九五）によれば、女子高校生の保護者が子どもを進学させる場合に示す、四年制大学志向、地元大学志向（四年大・短大）、私立大学志向（四年大・短大）として女子大学志向（四年大・短大）は非常に強く、そのような志向を示す保護者は、それぞれ約九割、約一〇割、約八割、約九割も存在していた。これにより、広島市内の私立四年制女子大学に対して子どもを進学を希望する保護者が多数存在することが実証され、地域社会において広島市内の私立四年制女子大学に対する極めて強い進学への要求が存在し

ていることが解明された。また、女子高校生の保護者が子どもの進学を積極的に希望している広島市内の私立四年制女子大学の学科・専攻は、女子高校生と同じく第一が「英米語・文学系」、第二が「人間科学系」であった。

### 三 本研究の目的

本研究は、学校法人比治山学園における比治山大学設置の具体的方途を探ることを究極の目的として、広島市内における私立四年制女子大学の設置に対する地域社会のニーズを明らかにしようと計画された「大学進学意識に関する研究」の一部である。本研究では、女子短大生が女子高校生であった頃の大学進学意識及び現時点（調査時点）における四年制大学への編入学意識について検討する。本研究の具体的目的は、広島市内及びその近郊に居住する女子短大生が、高校生の頃大学進学に関してどのような志望動機を持ち、大学選択の際にはどのような要因を重視していたのか、また、現時点で私立四年制女子大学のどのような学科・専攻への編入学をどの程度志望するかを明らかにすることである。

## 方 法

### 一 調査対象

比治山女子短期大学の一年生七二八名について調査を実施した。このうち、回答に不備があったものを除いた有効回答者七二〇名（有効回答率九八・九％）をデータ分析の対象とした。学科別の有効対象者の内訳は、表1に示す通りである。

表1 有効対象者の内訳

学 科	人 数
国 文 科	248
幼 児 教 育 科	122
家 政 科	242
美 術 科	108
全 体	720

### 二 手 続 き

#### (一) 調査の概要

調査には、B五版で六ページの調査票とB五版で一枚の回答用紙を使用した。調査票のタイトルは「大学進学に関する調査（短大生用）」とした。

#### (二) 調査方法と調査時期

調査は、平成三年四月上旬から五月中旬にかけて、

集合調査法により講義クラス単位で実施した。

### (三) 調査内容

調査票の構成は、高校生の時の進学志望度、高校生の時の志望大学規定要因、現時点での広島市内私立四年制女子大学の学科・専攻別編入学志望度の三つの柱から構成されていた。進学志望度は、大学進学志望度(問三)、文一理系大学志望度(問四)、四年制大学志望度(問五)、私立大学志望度(問六)、地元大学志望度(問七)、女子大学志望度(問八)の六つの視点から測定する。志望大学の規定要因は、志望学部・学科(問九)、志望大学決定条件(問一〇)、大学進学目的(問一一)の三つの側面から分析する。広島市内私立四年制女子大学の学科・専攻別編入学志望度は、一三の学科・専攻について測定する(問一二)。

### 結果と考察

#### 一 分析方法

本研究の最終的な対象者は大学進学志望者である。したがって、「大学(四年制大学または短期大学)へ

の進学」(問三)に対して、「絶対にしたくなかった」と回答したデータを削除し、多少なりとも大学進学の意志を持っていた有効対象者七一三名のデータを分析の対象とする。したがって、問四以降の分析において、比率の分析に使用する分母は、進学意志を示した最終有効対象者の人数である。

本研究ではそれぞれの問に対する最終有効対象者の回答反応に関する単純集計結果及び学科クロス集計結果から、顕著な特徴について考察する。それぞれの問ごとに各回答肢に対する反応頻度と反応率を、四学科全体で示した。なお、問二を除く問三から問八に関しては、回答肢一と二を一点(積極的志望)、回答肢三と四を二点(消極的志望)、回答肢五を三点(非志望)と三段階で得点化した。問二に関しては、回答肢一と二を一点(文科系志望)、回答肢三を二点(中間型)、回答肢四と五を三点(理科系志望)と三段階で得点化した。また、問一二(一)から問一二(一三)に関しては、回答肢一から三を一点から三点と得点化した。こうした反応得点の平均に関する学年差の分散分析による検定結果をそれぞれの表の(注)に示した。

## 二進学志望

### (一) 高校生の時の大学進学志望度

高校生の時の大学進学志望度を「高校三年生のとき、あなたは大学（四年制大学または短期大学）へ進学したいと思っていましたか。△問三▽」という設問によって尋ねた結果が、表2である。表2より、「ぜひ進学したかった」、「できれば進学したかった」という積極的志望が八八・五%、「進学してもよいと思っていたが、どちらともいえなかった」、「進学してもよいと思っていたが、あまり気はすすまなかった」という消極的志望が一〇・五%、「絶対に進学したくないと思っていた」という非志望が一・〇%であった。これにより、高校三年生の時に約九割の短大生が大学への進学を積極的に希望しており、消極的に希望していた学生をこれに加えると、九九・〇%の女子短大生が大学への進学意志をもっていたことになる。また、大学進学志望度に関して学科差が存在し、美術科の学生は、他の三科の学生に比べて大学進学を積極的に希望した学生が少ない。

大学進学を希望していた七一三人（九九・〇%）の

表2 女子短大生の大学進学志望度

	国文 N=248	幼児教育 N=122	家政 N=242	美術 N=108	全体 N=720
1. ぜひ進学したいと思っていた	71.0 (176)	73.8 (90)	63.6 (154)	52.8 (57)	66.3 (477)
2. できれば進学したいと思っていた	20.6 (51)	18.9 (23)	24.0 (58)	25.9 (28)	22.2 (160)
3. 進学してもよかったが、どちらともいえなかった	5.2 (13)	4.1 (5)	7.4 (18)	14.8 (16)	7.2 (52)
4. 進学してもよかったが、あまり気はすすまなかった	2.4 (6)	1.6 (2)	3.7 (9)	6.5 (7)	3.3 (24)
5. 絶対に進学したくないと思っていた	0.8 (2)	1.6 (2)	1.2 (3)	0.0 (0)	1.0 (7)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数

$F=5.098$ ,  $df=3/716$ ,  $p<.01$

学生が、以後のデータ分析の対象になる。

(二) 文—理系大学志望度

高校生の時の文—理系大学進学志望度を「高校三年生のとき、あなたが志望していた学部・学科は、文科系でしたか、それとも理科系でしたか。△問四▽」という設問によつて尋ねた結果を表3である。表3より、「文科系であった」、「どちらかといえば文科系であった」という文科系志望が八六・六%、「どちらともいえなかった」という中間型が六・六%、「理科系であった」、「どちらかといえば理科系であった」という理科系志望が六・九%であり、高校三年生の時、文科系志望であった女子短大生が極めて多数である。文—理系大学進学志望度に関しては学科差が認められ、文科系志望が最も多かったのは国文科であり、理科系志望が最も多かったのは家政科である。

(三) 四年制大学志望度

高校生の時の四年制大学進学志望度を「高校三年生のとき、あなたは、四年制大学へ行きたいと思っていましたか。△問五▽」という設問によつて尋ねた結果

表3 女子短大生の文—理系大学志望度

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. 文科系	91.5 (225)	83.3 (100)	63.6 (152)	73.1 (79)	78.0 (556)
2. どちらかといえば文科系	4.9 (12)	8.3 (10)	11.7 (28)	10.2 (11)	8.6 (61)
3. どちらともいえない	2.0 (5)	7.5 (9)	9.2 (22)	10.2 (11)	6.6 (47)
4. どちらかといえば理科系	0.8 (2)	0.0 (0)	10.0 (24)	3.7 (4)	4.2 (30)
5. 理科系	0.8 (2)	0.8 (1)	5.4 (13)	2.8 (3)	2.7 (19)

(注) 表内の数値は%, ( ) 内の数値は実数  
 $F=22.970, df=3/709, p<.001$

が、表4である。表4より、「ぜひ行きたいと思っていた」、「できれば行きたいと思っていた」という積極的志望が五五・〇%、「こだわっていなかった」、「あまり気はすすまないが、行ってもよいと思っていた」という消極的志望が三四・九%、「絶対に行きたくない」と思っていた」という非志望が一〇・一%であり、高校三年生の時、四年制大学への進学を積極的に希望していた学生が五割を越え、これに消極的志望の学生を加えると、約九割の女子短大生が四年制大学への進学意志を持っていたことになる。四年制大学志望度に関しては、学科差が存在し、四年制大学への進学を積極的に希望していた学生が最も多いのは国文科であり、次に多いのが美術科、最も少ないのが幼児教育科である。

#### (四) 私立大学志望度

高校生の時の私立大学進学志望度を「高校三年生のとき、あなたは、私立大学（四年制大学または短期大学）へ行きたいと思っていましたか。△問六V」という設問によって尋ねた結果が、表5である。表5より、「ぜひ行きたいと思っていた」、「できれば行きたいと

表4 女子短大生の四年制大学志望度

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. ぜひ行きたいと思っていた	26.8 ( 66)	18.3 ( 22)	18.0 ( 43)	18.5 ( 20)	21.2 (151)
2. できれば行きたいと思っていた	40.2 ( 99)	25.0 ( 30)	30.5 ( 73)	36.1 ( 39)	33.8 (241)
3. こだわらなかった	19.5 ( 48)	28.3 ( 34)	25.9 ( 62)	32.4 ( 35)	25.1 (179)
4. あまり気はすすまなかったが 進学してもよいと思っていた	6.5 ( 16)	12.5 ( 15)	13.0 ( 31)	7.4 ( 8)	9.8 ( 70)
5. 絶対に行きたくないと思っていた	6.9 ( 17)	15.8 ( 19)	12.6 ( 30)	5.6 ( 6)	10.1 ( 72)

(注) 表内の数値は%，( )内の数値は実数  
 $F=8.529$ ,  $df=3/709$ ,  $p<.001$

思っていた」という積極的志望が六〇・六%、「こだわっていなかった」、「あまり気はすすまないが、行ってもよいと思っていた」という消極的志望が三八・〇%、「絶対に行きたくないと思っていた」という非志望が一・四%であり、高校三年生のとき、約六割の学生が私立大学への進学を積極的に希望しており、これに消極的志望の学生を加えると、九八・六%もの女子短大生が私立大学への進学意志を持っていたことになる。私立大学志望度に関しては学科差がみられ、私立大学への進学を積極的に希望していた学生は、他の三科に比べて美術科に少ない。

#### (五) 地元大学志望度

高校生の時の地元大学進学志望度を「高校三年生のとき、あなたは、地元の広島にある大学（四年制大学または短期大学）に行きたいと思っていましたか。△問七V」という設問によって尋ねた結果が、表6である。表6より、「ぜひ行きたいと思っていた」、「できれば行きたいと思っていた」という積極的志望が六一・九%、「こだわっていなかった」、「あまり気はすすまないが、行ってもよいと思っていた」という消極

表5 女子短大生の私立大学志望度

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. ぜひ行きたいと思っていた	42.3 (104)	47.5 (57)	43.1 (103)	22.2 (24)	40.4 (288)
2. できれば行きたいと思っていた	18.3 (45)	18.3 (22)	22.2 (53)	22.2 (24)	20.2 (144)
3. こだわらなかった	31.7 (78)	28.3 (34)	30.5 (73)	43.5 (47)	32.5 (232)
4. あまり気はすすまなかったが 進学してもよいと思っていた	6.5 (16)	4.2 (5)	3.8 (9)	8.3 (9)	5.5 (39)
5. 絶対に行きたくないと思 っていた	1.2 (3)	1.7 (2)	0.4 (1)	3.7 (4)	1.4 (10)

(注) 表内の数値は%, ( ) 内の数値は実数  
 $F=7.643, df=3/709, p<.001$

表6 女子短大生の地元大学志望度

	国文 N=246	幼児教育 N=120	家政 N=239	美術 N=108	全体 N=713
1. ぜひ行きたいと思っていた	46.3 (114)	43.3 (52)	37.2 (89)	25.9 (28)	39.7 (283)
2. できれば行きたいと思っていた	19.5 (48)	25.0 (30)	22.2 (53)	25.0 (27)	22.2 (158)
3. こだわらなかった	20.3 (50)	15.8 (19)	17.6 (42)	21.3 (23)	18.8 (134)
4. あまり気はすすまなかったが 進学してもよいと思っていた	9.8 (24)	8.3 (10)	18.4 (44)	15.7 (17)	13.3 (95)
5. 絶対に行きたくないと 思っていた	4.1 (10)	7.5 (9)	4.6 (11)	12.0 (13)	6.0 (43)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=5.850, df=3/709, p<.001$

表7 女子短大生の女子大学志望度

	国文 N=246	幼児教育 N=120	家政 N=239	美術 N=108	全体 N=713
1. ぜひ行きたいと思っていた	16.7 (41)	27.5 (33)	19.2 (46)	5.6 (6)	17.7 (126)
2. できれば行きたいと思っていた	12.2 (30)	10.8 (13)	16.7 (40)	8.3 (9)	12.9 (92)
3. こだわらなかった	46.7 (115)	42.5 (51)	38.1 (91)	44.4 (48)	42.8 (305)
4. あまり気はすすまなかったが 進学してもよいと思っていた	21.1 (52)	15.8 (19)	21.8 (52)	27.8 (30)	21.5 (153)
5. 絶対に行きたくないと 思っていた	3.3 (8)	3.3 (4)	4.2 (10)	13.9 (15)	5.2 (37)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=11.387, df=3/709, p<.001$



的志望が三二・一%、「絶対に行きたくないと思つて  
いた」という非志望が六・〇%であり、高校三年生の  
時、六割以上の学生が地元の広島にある大学への進学  
を積極的に希望しており、消極的志望の学生をこれに  
加えると、九四%の女子短大生が地元の広島にある大  
学への進学意志をもつていたことになる。地元大学志  
望度に関しては学科差がみられ、地元の大学への進学  
を積極的に希望していた学生は、国文科と幼児教育科  
に多く、美術科に少ない。

#### (六) 女子大学志望度

高校生の時の女子大学進学志望度を「高校三年生の  
とき、あなたは、女子大学（四年制大学または短期大  
学）へ行きたいと思つていましたか。△問八V」とい  
う設問によつて尋ねた結果が、表7である。表7より  
「ぜひ行きたいと思つていた」、「できれば行きたいと  
思つていた」という積極的志望が三〇・六%、「こた  
わつていなかった」、「あまり気はすすまないが、行つ  
てもよいと思つていた」という消極的志望が六四・三  
%、「絶対に行きたくないと思つていた」という非志  
望が五・二%であり、高校三年生の時、三割以上の女

子高校生が女子大学への進学を積極的に希望しており  
、消極的志望の学生を加えると、約九五%の女子短大  
生が女子大学への進学意志をもつていたことになる。  
女子大学志望度に関しては学科差がみられ、女子大学  
への進学を積極的に希望していた学生は、幼児教育科  
と家政科に多く、美術科に少ない。

### 三 志望大学の規定要因

#### (一) 志望学部・学科

女子短大生が高校生の時、どのような学部・学科へ  
の進学を希望していたかを明らかにするために、志望  
学部・学科を「高校三年生のとき、あなたは、どのよ  
うな学部・学科に行きたかったですか。志望していた  
学部・学科を下の〇―一の中から三つまで選んで  
ください。第一志望だけでも、または第二志望までで  
もかまいません。△問九V」という設問によつて尋ね  
た結果が、表8である。表8より、高校三年生の時、  
女子短大生が最も進学を希望していた学部・学科は  
「人文系」（六二・三%）であり、これに続いて、  
「生活系」（四四・五%）、「教育系」（三二・〇%）、  
「芸術系」（三一・四%）、「経商系」（二一・七%）

といった学部・学科の希望率が高かった。志望学部・学科に関しては、部分的に学科差がみられた。

(二) 志望大学決定条件

女子短大生が高校生の時、どのような条件を考慮して志望大学を決定していたかを明らかにするために、志望大学決定条件を「高校三年生のとき、進学する大学（四年制大学または短期大学）を選ぶとき、あなたは、どのような条件、または何を参考にしましたか。下の〇―〇二〇の中からあなたが大切だと思う条件を五つ選んでください。四つ以下でもかまいません。△問一〇▽」という設問によって尋ねた結果が、表9である。表9より、女子短大生が高校三年生の時志望大学を決定する際に最も重視していた条件は、「希望する学部・学科・専攻があること」（八七・七％）であり、これに続いて、「難易度（偏差値）が適当であるこ

表8 女子短大生の志望学部・学科

	国文 N=246	幼児教育 N=120	家政 N=239	美術 N=108	全体 N=713
01. 法 政 系	12.2 ( 30)	2.5 ( 3)	5.0 ( 12)	5.6 ( 6)	7.2 ( 51)
02. 経 商 系	26.0 ( 64)	11.7 ( 14)	30.5 ( 73)	10.2 ( 11)	22.7 (162)
03. 人 文 系	94.3 (232)	41.7 ( 50)	48.1 (115)	43.5 ( 47)	62.3 (444)
04. 社 会・福 祉 系	18.7 ( 46)	29.2 ( 35)	10.5 ( 25)	8.3 ( 9)	16.1 (115)
05. 教 育 系	24.0 ( 59)	91.7 (110)	17.6 ( 42)	15.7 ( 17)	32.0 (228)
06. 芸 術 系	20.3 ( 50)	26.7 ( 32)	15.5 ( 37)	97.2 (105)	31.4 (224)
07. 生 活 系	23.6 ( 58)	23.3 ( 28)	83.7 (200)	28.7 ( 31)	44.5 (317)
08. 理 学 系	1.2 ( 3)	1.7 ( 2)	3.8 ( 9)	6.5 ( 7)	2.9 ( 21)
09. 工 学 系	2.8 ( 7)	1.7 ( 2)	7.1 ( 17)	13.0 ( 14)	5.6 ( 40)
10. 医 歯 薬 系	3.7 ( 9)	10.0 ( 12)	10.5 ( 25)	4.6 ( 5)	7.2 ( 51)
11. 農 林 水 畜 産 系	2.8 ( 7)	2.5 ( 3)	1.3 ( 3)	5.6 ( 6)	2.7 ( 19)

(注) 表内の数値は％, ( ) 内の数値は実数

表9 女子短大生の志望大学決定条件

	国 文 N=246	幼 児 教 育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
01. 受験科目が少ない	43.1 (106)	27.5 ( 33)	49.8 (119)	41.7 ( 45)	42.5 (303)
02. 難易度(偏差値)が適当である	78.9 (194)	75.0 ( 90)	73.6 (176)	57.4 ( 62)	73.2 (522)
03. 推薦入試制度がある	13.4 ( 33)	24.2 ( 29)	20.1 ( 48)	25.9 ( 28)	19.4 (138)
04. 志望する学部・学科・専攻がある	87.4 (215)	91.7 (110)	81.6 (195)	97.2 (105)	87.7 (625)
05. 教授陣・カリキュラムの充実	10.6 ( 26)	8.3 ( 10)	9.6 ( 23)	15.7 ( 17)	10.7 ( 76)
06. 施設・設備の充実	22.0 ( 54)	25.8 ( 31)	21.3 ( 51)	22.2 ( 24)	22.4 (160)
07. 大学院がある	0.0 ( 0)	0.8 ( 1)	0.0 ( 0)	1.9 ( 2)	0.4 ( 3)
08. 希望する資格・免許がとれる	28.9 ( 71)	80.8 ( 97)	33.5 ( 80)	25.0 ( 27)	38.6 (275)
09. 教師・親・親戚からの勧めがある	15.4 ( 38)	6.7 ( 8)	9.6 ( 23)	3.7 ( 4)	10.2 ( 73)
10. 先輩や家族の出身大学である	4.1 ( 10)	0.0 ( 0)	2.5 ( 6)	1.9 ( 2)	2.5 ( 18)
11. 友人が希望している	1.2 ( 3)	2.5 ( 3)	2.1 ( 5)	1.9 ( 2)	1.8 ( 13)
12. 一流・有名大学である	7.7 ( 19)	5.0 ( 6)	8.8 ( 21)	4.6 ( 5)	7.2 ( 51)
13. クラブ活動が盛んである	1.2 ( 3)	2.5 ( 3)	1.7 ( 4)	3.7 ( 4)	2.0 ( 14)
14. 授業料が安い	12.2 ( 30)	9.2 ( 11)	12.6 ( 30)	15.7 ( 17)	12.3 ( 88)
15. 就職に有利	39.8 ( 98)	33.3 ( 40)	46.0 (110)	25.0 ( 27)	38.6 (275)
16. 結婚に有利	2.8 ( 7)	3.3 ( 4)	4.6 ( 11)	0.0 ( 0)	3.1 ( 22)
17. 自宅通学が可能	52.8 (130)	40.8 ( 49)	48.1 (115)	49.1 ( 53)	48.7 (347)
18. 県内にある	39.8 ( 98)	36.7 ( 44)	29.3 ( 70)	39.8 ( 43)	35.8 (255)
19. 都市部にある	8.1 ( 20)	2.5 ( 3)	10.5 ( 25)	12.0 ( 13)	8.6 ( 61)
20. アルバイトがみつかりやすい	0.8 ( 2)	1.7 ( 2)	0.0 ( 0)	0.9 ( 1)	0.7 ( 5)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数

と」(七三・二%)、「自宅通学が可能なこと」(四八・七%)、「受験科目が少ないこと」(四二・五%)、「希望する資格・免許がとれること」(三八・六%)、「就職に有利なこと」(三八・六%)、「県内にあること」(三五・八%)といった条件の重視率が高かった。志望大学決定条件に関しては、学科差が存在する。

### (三) 大学進学目的

女子短大生が、どのような目的のために大学への進学を希望していたかを明らかにするために、大学進学目的を「高校三年生のとき、あなたが、大学(四年制大学または短大)へ進学しようと思った目的は、何でしたか。下の1〜9の目的の中から、あなたが重要だと思うものを三つ選んでください。二つ以下でもかまいません。△問一▽」という設問によって尋ねた結果が、表10である。高校三年生の時、女子短大生が大学へ進学しようとした目的としては、「幅広い教養を身につけるため」(四九・八%)、「専門的な知識を身につけるため」(四九・四%)、「学生生活を楽しむため」

表10 女子短大生の大学進学目的

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. 専門的な知識を身につけるため	43.1 (106)	64.2 ( 77)	39.7 ( 95)	68.5 ( 74)	49.4 (352)
2. 幅広い教養を身につけるため	62.2 (153)	40.8 ( 49)	49.4 (118)	32.4 ( 35)	49.8 (355)
3. 技術を身につけるため	3.3 ( 8)	15.8 ( 19)	21.3 ( 51)	62.0 ( 67)	20.3 (145)
4. 資格や免許をとるため	34.6 ( 85)	82.5 ( 99)	34.3 ( 82)	28.7 ( 31)	41.7 (297)
5. 条件のよいところに就職するため	52.8 (130)	25.8 ( 31)	51.0 (122)	26.9 ( 29)	43.8 (312)
6. 条件のよい結婚をするため	4.9 ( 12)	4.2 ( 5)	12.6 ( 30)	0.9 ( 1)	6.7 ( 48)
7. 学生生活を楽しむため	52.4 (129)	40.0 ( 48)	51.0 (122)	42.6 ( 46)	48.4 (345)
8. クラブ活動をするため	2.4 ( 6)	1.7 ( 2)	2.1 ( 5)	0.0 ( 0)	1.8 ( 13)
9. 友達をつくるため	22.4 ( 55)	9.2 ( 11)	27.2 ( 65)	13.9 ( 15)	20.5 (146)

(注) 表内数値は%, ( )内の数値は実数

(四八・四%)、「条件のよいところに就職をするため」(四三・八%)、「資格や免許をとるため」(四一・七%)が上位を占めている。大学進学目的に関しては、学科差が存在する。

#### 四 広島市内私立四年制女子

##### 大学の学科・専攻別編入学志望度

女子短大生が広島市内私立四年制女子大学の特定の学科・専攻への編入学をどのくらい希望しているかを明らかにするために、一三の学科・専攻に対する志望度を「もし比治山学園に、下にあげるような学科・専攻があったら、あなたは、その四年制女子大学にどれくらい編入学したいと思いますか。ここでいう編入学とは、短大を卒業した時点で四年制大学の三年生になることです。すべての学科・専攻について答えてください。△問一二▽」という設問によって尋ねた

表11 女子短大生の法政系の編入学志望度

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. 編入学したい	13.0 ( 32)	3.3 ( 4)	5.0 ( 12)	2.8 ( 3)	7.2 ( 51)
2. 編入学してもよい	26.4 ( 65)	15.8 ( 19)	21.3 ( 51)	25.9 ( 28)	22.9 ( 163)
3. 編入学したくない	60.6 ( 149)	80.8 ( 97)	73.6 ( 176)	71.3 ( 77)	70.0 ( 499)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=8.638, df=3/709, p<.001$

表12 女子短大生の経経商系の編入学志望度

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. 編入学したい	15.9 ( 39)	5.8 ( 7)	20.1 ( 48)	5.6 ( 6)	14.0 ( 100)
2. 編入学してもよい	32.1 ( 79)	31.7 ( 38)	36.8 ( 88)	29.6 ( 32)	33.2 ( 237)
3. 編入学したくない	52.0 ( 128)	62.5 ( 75)	43.1 ( 103)	64.8 ( 70)	52.7 ( 376)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=9.646, df=3/709, p<.001$

表13 女子短大生の日本語・文学系の編入学志望度

	国文 N=246	幼児教育 N=120	家政 N=239	美術 N=108	全体 N=713
1. 編入学したい	41.1 (101)	11.7 (14)	6.7 (16)	12.0 (13)	20.2 (144)
2. 編入学してもよい	42.3 (104)	32.5 (39)	27.6 (66)	30.6 (33)	33.9 (242)
3. 編入学したくない	16.7 (41)	55.8 (67)	65.7 (157)	57.4 (62)	45.9 (327)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=69.620$ ,  $df=3/709$ ,  $p<.001$

表14 女子短大生の英米語・文学系の編入学志望度

	国文 N=246	幼児教育 N=120	家政 N=239	美術 N=108	全体 N=713
1. 編入学したい	30.9 (76)	23.3 (28)	31.8 (76)	13.0 (14)	27.2 (194)
2. 編入学してもよい	33.7 (83)	24.2 (29)	28.0 (67)	35.2 (38)	30.4 (217)
3. 編入学したくない	35.4 (87)	52.5 (63)	40.2 (96)	51.9 (56)	42.4 (302)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=6.245$ ,  $df=3/709$ ,  $p<.001$

表15 女子短大生の歴史・文化系の編入学志望度

	国文 N=246	幼児教育 N=120	家政 N=239	美術 N=108	全体 N=713
1. 編入学したい	29.7 (73)	15.0 (18)	12.1 (29)	13.0 (14)	18.8 (134)
2. 編入学してもよい	41.5 (102)	25.0 (30)	28.5 (68)	41.7 (45)	34.4 (245)
3. 編入学したくない	28.9 (71)	60.0 (72)	59.4 (142)	45.4 (49)	46.8 (334)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=20.572$ ,  $df=3/709$ ,  $p<.001$

表16 女子短大生の教育系の編入学志望度

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. 編入学したい	13.8 ( 34)	62.5 ( 75)	8.4 ( 20)	7.4 ( 8)	19.2 (137)
2. 編入学してもよい	23.2 ( 57)	27.5 ( 33)	28.9 ( 69)	16.7 ( 18)	24.8 (177)
3. 編入学したくない	63.0 (155)	10.0 ( 12)	62.8 (150)	75.9 ( 82)	56.0 (399)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=86.411, df=3/709, p<.001$

表17 女子短大生の人間科学系の編入学志望度

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. 編入学したい	41.1 (101)	36.7 ( 44)	20.9 ( 50)	24.1 ( 26)	31.0 (221)
2. 編入学してもよい	35.0 ( 86)	35.8 ( 43)	35.1 ( 84)	43.5 ( 47)	36.5 (260)
3. 編入学したくない	24.0 ( 59)	27.5 ( 33)	43.9 (105)	32.4 ( 35)	32.5 (232)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=11.732, df=3/709, p<.001$

表18 女子短大生の芸術系の編入学志望度

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. 編入学したい	13.0 ( 32)	20.8 ( 25)	9.6 ( 23)	75.9 ( 82)	22.7 (162)
2. 編入学してもよい	26.8 ( 66)	36.7 ( 44)	24.7 ( 59)	21.3 ( 23)	26.9 (192)
3. 編入学したくない	60.2 (148)	42.5 ( 51)	65.7 (157)	2.8 ( 3)	50.4 (359)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=100.098, df=3/709, p<.001$

表19 女子短大生の生活科学系の編入学志望度

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. 編入学したい	7.7 ( 19)	10.0 ( 12)	35.6 ( 85)	11.1 ( 12)	18.0 (128)
2. 編入学してもよい	30.5 ( 75)	42.5 ( 51)	40.6 ( 97)	31.5 ( 34)	36.0 (257)
3. 編入学したくない	61.8 (152)	47.5 ( 57)	23.8 ( 57)	57.4 ( 62)	46.0 (328)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=40.991, df=3/709, p<.001$

表20 女子短大生の理学系の編入学志望度

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. 編入学したい	2.4 ( 6)	2.5 ( 3)	4.2 ( 10)	5.6 ( 6)	3.5 ( 25)
2. 編入学してもよい	10.6 ( 26)	9.2 ( 11)	10.5 ( 25)	18.5 ( 20)	11.5 ( 82)
3. 編入学したくない	87.0 (214)	88.3 (106)	85.4 (204)	75.9 ( 82)	85.0 (606)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=2.723, df=3/709, p<.05$

表21 女子短大生の工学系の編入学志望度

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. 編入学したい	8.9 ( 22)	6.7 ( 8)	16.7 ( 40)	13.9 ( 15)	11.9 ( 85)
2. 編入学してもよい	16.7 ( 41)	17.5 ( 21)	21.3 ( 51)	29.6 ( 32)	20.3 (145)
3. 編入学したくない	74.4 (183)	75.8 ( 91)	61.9 (148)	56.5 ( 61)	67.7 (483)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=6.320, df=3/709, p<.001$



結果が、表11から表23である。

(一) 法政系の学科・専攻への  
編入学志望度

法政系の学科・専攻については、「編入学したい」という積極的志望が七・二%、「編入学してもよい」という消極的志望が二二・九%、「編入学したくない」という非志望が七〇・〇%であり、この学科・専攻に対して、編入学を積極的に希望する女子短大生は一割以下であり、消極的な希望を加えても、編入学の意志を示す女子短大生は三割にすぎない。この学科・専攻への志望度に関しては学科差がみられ、編入学を積極的に希望する女子短大生は、国文科に多く、美術科に少ない。

(二) 経経商系の学科・専攻への  
編入学志望度  
経経商系の学科・専攻については、

表22 女子短大生の医歯薬系の編入学志望度

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. 編入学したい	9.3 ( 23)	15.8 ( 19)	14.2 ( 34)	5.6 ( 6)	11.5 ( 82)
2. 編入学してもよい	25.2 ( 62)	17.5 ( 21)	24.3 ( 58)	27.8 ( 30)	24.0 (171)
3. 編入学したくない	65.4 (161)	66.7 ( 80)	61.5 (147)	66.7 ( 72)	64.5 (460)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=1.241, df=3/709, n.s.$

表23 女子短大生の農水畜系の編入学志望度

	国 文 N=246	幼児教育 N=120	家 政 N=239	美 術 N=108	全 体 N=713
1. 編入学したい	4.1 ( 10)	5.0 ( 6)	3.3 ( 8)	1.9 ( 2)	3.6 ( 26)
2. 編入学してもよい	9.8 ( 24)	10.0 ( 12)	10.0 ( 24)	22.2 ( 24)	11.8 ( 84)
3. 編入学したくない	86.2 (212)	85.0 (102)	86.6 (207)	75.9 ( 82)	84.6 (603)

(注) 表内の数値は%, ( )内の数値は実数  
 $F=0.999, df=3/709, n.s.$

「編入学したい」という積極的志望が一四・〇％、「編入学してもよい」という消極的志望が三三・二％、「編入学したくない」という非志望が五二・七％であり、この学科・専攻に対して、編入学を積極的に希望する女子短大生は一割強であり、消極的な希望を加えても、編入学の意志を示す女子短大生は五割以下である。この学科・専攻への志望度に関しては、学年差がみられ、編入学の意志を示す女子短大生は、家政科と国文科に多い。

(三) 日本語・文学系の学科・専攻への編入学  
志望度

日本語・文学系の学科・専攻については、「編入学したい」という積極的志望が二〇・二％、「編入学してもよい」という消極的志望が三三・九％、「編入学したくない」という非志望が四五・九％であり、この学科・専攻に対して、編入学を積極的に希望する女子短大生は二割であり、消極的な希望を加えると、編入学の意志を示す女子短大生は五割を越える。この学科・専攻への志望度に関しては、学科差がみられ、編入学を積極的に希望する女子短大生は、他の三科に比べ

て、国文科に非常に多い。

(四) 英米語・文学系の学科・専攻への編入学  
志望度

英米語・文学系の学科・専攻については、「編入学したい」という積極的志望が二七・二％、「編入学してもよい」という消極的志望が三〇・四％、「編入学したくない」という非志望が四二・四％であり、この学科・専攻に対して、編入学を積極的に希望する女子短大生は三割近くおり、消極的な希望を加えると、編入学の意志を示す女子短大生は約六割に達する。この学科・専攻への志望度に関しては学科差がみられ、編入学を積極的に希望する女子短大生は、家政科と国文科に多く、美術科に少ない。

(五) 歴史・文化系の学科・専攻への編入学  
志望度

歴史・文化系の学科・専攻については、「編入学したい」という積極的志望が一八・八％、「編入学してもよい」という消極的志望が三四・四％、「編入学したくない」という非志望が四六・八％であり、この学

科・専攻に対して、編入学を積極的に希望する女子短大生は二割弱であり、消極的な希望を加えると、編入学の意志を示す女子短大生は五割を越える。この学科・専攻への志望度に関しては学科差がみられ、編入学を積極的に希望する女子短大生は、他の三科に比べて、国文科に多い。

#### (六) 教育系の学科・専攻への編入学志望度

教育系の学科・専攻については、「編入学してもよい」という積極的志望が一九・二%、「編入学したくない」という消極的志望が二四・八%、「編入学したくない」という非志望が五六・〇%であり、この学科・専攻に対して、編入学を積極的に希望する女子短大生は約二割であり、消極的な希望を加えると、編入学の意志を示す女子短大生は四割強となる。この学科・専攻への志望度に関しては学科差がみられ、編入学を積極的に希望する女子短大生は、他の三科に比べて、幼児教育科に多い。

#### (七) 人間科学系の学科・専攻への編入学志望度

人間科学系の学科・専攻については、「編入学した

い」という積極的志望が三一・〇%、「編入学してもよい」という消極的志望三六・五%、「編入学したくない」という非志望が三二・五%であり、この学科・専攻に対して、編入学を積極的に希望する女子短大生は三割に達し、消極的な希望を加えると、編入学の意志を示す女子短大生は七割近くになる。この学科・専攻への志望度に関しては学科差がみられ、編入学を積極的に希望する女子短大生は、国文科と幼児教育科に多く、美術科と家政科に少ない。

#### (八) 芸術系の学科・専攻への編入学志望度

芸術系の学科・専攻については、「編入学してもよい」という積極的志望が二二・七%、「編入学したくない」という消極的志望が二六・九%、「編入学したくない」という非志望が五〇・四%であり、この学科・専攻に対して、編入学を積極的に希望する女子短大生は二割強であり、消極的な希望を加えると、編入学の意志を示す女子短大生は約五割となる。この学科・専攻への志望度に関しては学科差がみられ、編入学を積極的に希望する女子短大生は、他の三科に比べて、美術科で非常に多い。

(九) 生活科学系の学科・専攻への編入学志望度

生活科学系の学科・専攻については、「編入学したい」という積極的志望が一八・〇%、「編入学してもよい」という消極的志望が三六・〇%、「編入学したくない」という非志望が四六・〇%であり、この学科・専攻に対して、編入学を積極的に希望する女子短大生は二割弱であるが、消極的な希望を加えると、編入学の意志を示す女子短大生は五割を越える。この学科・専攻への志望度に関しては学科差がみられ、編入学を積極的に希望する女子短大生は、他の三科に比べて、家政科で非常に多い。

(一〇) 理学系の学科・専攻への編入学志望度

理学系の学科・専攻については、「編入学したい」という積極的志望が三・五%、「編入学してもよい」という消極的志望一一・五%、「編入学したくない」という非志望が八五・〇%であり、この学科・専攻に対して、編入学を積極的に希望する女子短大生は極めて少数であり、消極的な希望を加えても、編入学の意志を示す女子短大生は二割に満たない。この学科・専攻への志望度に関しては学科差がみられ、編入学を全

く希望しない女子短大生は、他の三科に比べて、美術科に少ない。

(一一) 工学系の学科・専攻への編入学志望度

工学系の学科・専攻については、「編入学したい」という積極的志望が一・九%、「編入学してもよい」という消極的志望が二〇・三%、「編入学したくない」という非志望が六七・七%であり、この学科・専攻に対して、編入学を積極的に希望する女子短大生は約一割であり、消極的な希望を加えても、編入学の意志を示す女子短大生は三割にすぎない。この学科・専攻への志望度に関しては学科差がみられ、編入学を全く希望しない女子短大生は、国文科と幼児教育科に多く、家政科と美術科に少ない。

(一二) 医歯薬系の学科・専攻への編入学志望度

医歯薬系の学科・専攻については、「編入学したい」という積極的志望が一・五%、「編入学してもよい」という消極的志望が二四・〇%、「編入学したくない」という非志望が六四・五%であり、この学科・専攻に対して、編入学を積極的に希望する女子短大生

は約一割であり、消極的な希望を加えると、編入学の意志を示す女子短大生は三割強にすぎない。この学科・専攻への志望度に関しては、学科差はそれほど顕著ではない。

### (一三) 農水畜系の学科・専攻別編入学志望度

農水畜系の学科・専攻については、「編入学したい」という積極的志望が三・六%、「編入学してもよい」という消極的志望が一・八%、「編入学したくない」という非志望が八四・六%であり、この学科・専攻に対して、編入学を積極的に希望する女子短大生は極めて少数であり、消極的な希望を加えても、編入学の意志を示す女子短大生は二割に満たない。この学科・専攻への志望度に関しては、学科差はそれほど顕著ではない。

## 五 概 括

広島市内の私立女子短期大学に在籍する女子短大生は、高校在学時に、四年制大学志向、地元大学志向（四年大・短大）、私立大学志向（四年大・短大）、女子大学志向（四年大・短大）を示す者が、それぞれ約

九割、約九割、約一〇割、約九割も存在していたことが解明された。こうした結果は、現役の女子高校生の広島市内私立四年制女子大学への進学志向と極めてよく一致している。

女子短大生の広島市内私立四年制女子大学への編入学希望は、学科・専攻によって大きく異なるものの、概して編入学希望が強いことが明らかとなった。特に、「人間科学系」、「英米文学系」、「歴史・文化系」の学科・専攻に対する編入学希望者は、それぞれ約七割、約六割、約五割にも達することが示された。また、「芸術系」、「日本語・文学系」、「生活科学系」の学科・専攻に対する編入学希望者はいずれも約五割、「教育系」の学科・専攻に対する編入学希望者は約四割に達することが示されたが、調査対象である比治山女子短期大学の所属学科が、国文科、家政科、美術科、幼児教育科であることを考えれば当然の結果であろう。

## 引 用 文 献

深田成子・高野卓郎 一九九五 女子高校生の大学進学に関する意識 比治山大学現代文化学部紀要、第二号（一二七～一四〇）。

高野卓郎・深田成子 一九九六 女子高校生の大学進学に関する保護者の意識 比治山女子短期大学紀要、第三号（一〜十一）。